

岩手県選抜クラブ選手権予選リーグ大会規定

【予選リーグ運営について】

1. 予選リーグ運営については、大会本部から委任された選抜クラブ(ホストチーム)が行う。
2. 会場規格(ネットフェンス等)、試合時間・会場等もホストチーム事務局の裁量で変更しても構わない。ただし、変更があった場合は大会本部・各チームへ変更を伝えること。
3. ホストチームは予選リーグ3試合終了後、大会本部へ速やかに報告をすること。
4. 審判員は大会本部で要請する。ただし審判員の都合で人数が揃わない場合は、参加選抜クラブで補うこととする。

【予選リーグ雨天時の対応について】

1. 前日または早朝に中止と判断した場合は、大会本部より中止を宣告して決勝トーナメントは本部の代理にて順位抽選を行う。
2. 3チームが集合してからの中止判断の場合は、3チームによる抽選にて順位抽選を行う。
3. 中止の判断はホストチームに一任する。

【大会・試合運営について】

1. 野球競技区画線(学童部)塁間23m、投手間16m、固定ベースで行います。
試合球は公式C号球(トップボール)で行います。
2. 試合予定時刻60分前には、会場入りしてください。
また、第1試合目のクラブは入場時刻(7:00)より練習可能。
3. ベンチは、組合せ番号の若い方を1塁側とします。
4. シートロックはホストチームの運営で実施しても構わない。
5. ベンチに入れる人員は、責任者1名(成人)・監督1名(成人)・コーチ3名以内(成人)・スコアラー(小学生可)・登録選手25名以内とする。※成人とは、20歳以上と定める。
6. 選手の背番号は0~26番まで可能とする。ただし監督は30番、コーチは29~27番、主将は10番が専用番号となる。選手は30~27番の背番号を着用することはできない。
7. 大会取決め事項
 - ①全試合7回戦。
 - ②5回以降7点差以上でコールドゲーム成立とする。
 - ③投手の投球制限は採用しない。ただし選手の健康管理には十分に注意すること。
 - ④延長は、8回から特別延長戦(1死満塁継続打順)を実施して勝敗を決する。
 - ⑤次の試合の先発バッテリーのみ、メンバー表交換後、ブルペン入りできる。
ただし、試合中のクラブに優先権があるため、妨げにならないよう指導者の責任において行うこと。
 - ⑥練習場所は、大会本部が定めた箇所で行うこと。練習時の施設の破損は該当チームが責任を持って処理すること。
 8. ユニホームは、必ずチームで統一したものにしてください。監督・コーチも同様のユニホームを必ず着用してください。スパイク・アンダーシャツの色は制限しない。監督・コーチはトレーニングシューズを可能とする。カラーソックスはチーム内統一であれば可能とする。
※その他、事前に大会本部に承認された場合は許可する。
 9. 試合前のグラウンド練習には、監督・コーチ・選手のユニホーム着用者以外は参加することはできない。代表者・スコアラーはグラウンドに出ることはできない。
 10. スタンド・応援席は「応援」をする場所です。相手チーム・審判への、野次や罵声は控えまして観戦・応援してください。太鼓・鳴り物の制限はありませんが、施設管理者の判断で当日制限が入る場合がありますので、予めご理解をお願いいたします。
 11. 試合規定項目以外については、2016年公認野球規則・競技者必携及び試合前の打ち合わせ事項を準用する。